

建築科

我ら技術者集団、目指せ未来の匠

〈建築コース〉
 「地震から建築物を守るためには」「快適に過ごせる建築物とは」など、安全でニーズに即した建築物を建てるために必要な知識と技術を幅広く習得します。設計士や施工管理者、一般大工などの養成が主です。
 〈伝統建築コース〉
 全国的な注目を浴びているコースです。日本の伝統技術について詳しく学び、一般大工、宮大工、文化財修復などのエキスパートを養成します。現場で腕を磨いてきた職員が、直接指導に当たるので、生の技術を習得できます。



野崎 凛 令和3年度入学 あさぎり中学校出身

球磨工に入学した理由

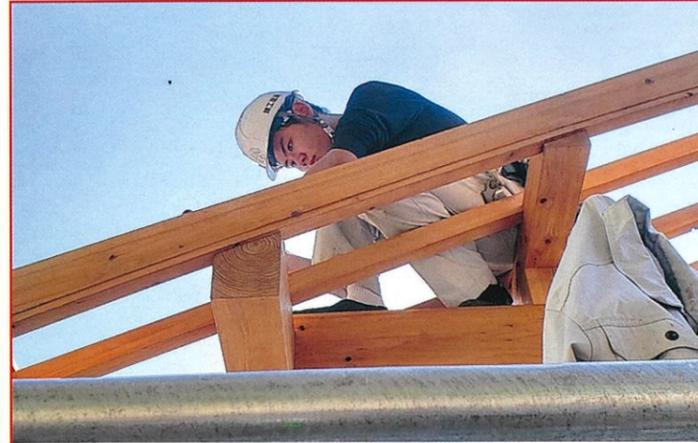
私は世界の建築物を見るのが好きで、将来は建築デザイナーになりたいと考えています。そのために、本格的に建築を学べる球磨工業高校建築科の入学を決断しました。

面白い授業

「工業技術基礎」という授業が面白いと感じています。測量や木材加工、製図など経験豊富な先生方から学ぶことができるため、たくさんの知識や技術を身に付けることができます。簡単ではない作業もありますが、やり遂げたときの達成感はとても大きいです。

中学生へメッセージ

建築科では、たくさんの資格を取得することができ、就職や進学にとっても役立ちます。また、現代的な建築物だけではなく、社寺建築といった日本の伝統的な建築物について学ぶことができるのは大きな魅力です。体育大会や球磨工フェスタなど学校行事も充実しており、思い出の詰まった高校生活を過ごせます。人間の「住」を担う建築はやりがいと誇りがあります。少しでも建築に興味がある人は、ぜひ球磨工業高校に来てください。皆さんの入学を楽しみにしています。



山中 瑠太 新産住拓株式会社（大工）
 令和3年度卒業 長嶺中学校出身

球磨工に入学した理由

私は幼い頃からものづくりが好きで、特に継手や仕口などの伝統的な技法に強い関心がありました。より専門的に学べる学校を探すなかで球磨工業高校のことを知り、平成元年から続く歴史ある伝統建築コースの内容に強く惹かれて、本校建築科伝統建築コースに入学しました。

高校時代に一番頑張ったこと

私は資格取得を頑張りました。いろいろな資格の取得に挑戦しましたが、特に技能検定（建築大工2級）の取得に向けて力を注ぎました。この検定は、高校で身につけた技能が試される難関資格で、対策に臨んだ3カ月間は苦悶の連続でした。しかし、そこでより技能を高められ、初めての受検で合格を勝ち取ることができました。

建築科のアピールポイント

本校の建築科は、現代建築から伝統建築について幅広く学べる、日本でも数少ない学校です。実際の建築現場で働かれていた先生が多くいらっしゃり、授業ではより実務的なことを教えていただけます。さらに、現場での経験談を聞けることも大きな魅力です。ぜひ球磨工業高校建築科で建築のスペシャリストを目指してください！



資格等

- ◆技能検定建築大工2級、3級
 （令和3年度実績 2級5名、3級16名合格）
- ◆2級建築施工管理技術検定（学科のみ）（2名合格）

これは、大工として一定の技能を持っていることを国が証明したものです。社寺建築や文化財修復、一般住宅など、実際の現場で修行を積んできた職員が指導するので、大工としての確かな技術を身に付けることができます。

大会実績

- 第18回熊本県高校生ものづくりコンテスト 木材加工部門 2位（銀賞）
- 第18回熊本県高校生ものづくりコンテスト 家具工芸部門 1位（金賞）、2位（銀賞）
- 第20回高校生ものづくりコンテスト九州大会 家具工芸部門 1位（最優秀賞）
- 第10回つまようじタワー耐震コンテスト高校生大会 専門高校建築部門 特別賞

その他の活動

- 小高連携木工教室（毎年実施）
- 親子木工教室（毎年夏休み・に実施）
- 地域活性（木製ベンチ製作・木育教室）など

資格

- 技能検定（建築大工2、3級）
- 2級建築施工管理技術士
- 2級建築士（卒業後受験可能、実務経験要）など

建設工学科

人々が安心して暮らせるまちづくりー地域を守る技術者を目指そう！

ネットで購入したものが数日後に届くのはなぜ？それは、空港や港、高速道路が整備されているからです。これらを社会基盤といい、ダムや護岸、防波堤など、私たちの生命や財産を守るものもあります。こうした社会基盤を計画し、建設し、維持するのが建設技術者の役割です。また、災害の発生時には、いち早く駆けつけて救助や支援物資を移送するための道路を復旧します。みんなが安心して快適に暮らせるまちづくりに貢献します。



富樫 永斗 令和3年度入学 球磨中学校出身

球磨工に入学した理由

令和2年7月豪雨によって橋や道路などが壊され、それらを修復している方々の姿を見て、私も将来人の役に立つ仕事をしたと思い建設工学科に入学しました。また、高校生活でたくさんの資格を取得した方が仕事をする際に自分の強みになると思ったのも球磨工に入学した理由のひとつです。

面白い授業

工業技術基礎で「測量実習」というのがあり、それがとても楽しくて面白いです。最初は難しく感じますが、先生方が分かりやすく教えてくださいるので、自然とできるようになります。また、測量はチームで役割を決めて作業するので、技術とチームワークが必要となり、それが測量の面白いところです。

中学生へメッセージ

建設工学科では、令和2年7月豪雨でも活躍した重機の免許や2級土木施工管理士の国家資格が取得できます。また、授業では建設工学科の先生方が分からないところを丁寧に教えていただけるので安心です。中学生の皆さんも、私たちと一緒に建設工学科で頑張りましょう。



松岡 純大
 味岡建設（株）
 令和3年度卒業
 多良木中学校出身

球磨工に入学した理由

熊本地震や日本各地で発生している災害などを見て、将来は建設業に携わりたいと考え、建設工学科に入学しました。また、部活動も盛んなところにも魅力を感じました。令和2年7月豪雨を経験し、今は地元の復旧・復興に貢献したいと思っています。

高校生活で頑張ったこと

高校生活で一番頑張ったことは部活動です。バスケットボール部に所属していましたが、厳しい練習についていけずやめようと思ったこともありました。しかし、チームメイトや周りの方々の支えがあり、レギュラーとして最後まで頑張ることができました。皆さんに感謝です。

建設工学科のアピールポイント

建設工学科では、ドローンを飛ばして3次元の地図を作ったり、測量して被害状況を調査したり、ハザードマップを開発したりと「防災」について取り組んでいます。また、現場見学会もたくさんあり、建設業の役割や本物の技術を学ぶことができます。地域の復旧・復興に携わりたいと思った人は建設工学科に来てください。

資格

- ★2級土木施工管理技術検定（国家資格）
 建設現場において、工程や品質、安全を管理する現場責任者に必要な資格です。
- ★測量士補（国家資格）
 測量法に基づく国家資格で、基本測量や公共測量を行うために必要です。
- ★建設機械特別教育
 （バックホー、締固めローラー、高所作業車）
 土を掘削したり締め固めたり、高所での作業に必要な建設機械の資格（免許）です。

大会成績

- 令和3年度第18回熊本県高校生ものづくりコンテスト 測量部門「銅賞」

ボランティア、地域貢献、その他の活動

建設業の役割や技術を学ぶため、国土交通省による「出前授業」や熊本県土木部による「建設産業ガイダンス」、管内建設会社との連携による「舗装実習」といった体験学習会を各学期に実施しています。また、防災に関する学習や人吉球磨の復興にも協力しています。

